



カブリダニ製剤と在来カブリダニ種の見分け方

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 **とよしましんご**
 北海道農業研究センター **豊島真吾**

はじめに

カブリダニ類の識別には、一般的に『検索表』が使われる（江原・後藤，2009）。しかし、『検索表』には参照できる図版が少なく、識別に利用する形態形質に関する基礎情報（名称や位置）も省略される場合がある。そのため、カブリダニ研究の入門者にとって種の識別は容易なことではない。気軽に種の識別に取り組むことをコンセプトとしてウェブサイト“Phytoseiid mite Portal”（図-1）を開設したが、ウェブサイトを構成する約500アイテムの中から必要なコンテンツを迅速に探し出すことは、作製者本人にとっても必ずしも容易ではない。そこで、ウェブサイトの一部分を切り出し、マニュアル（図-2）を作成するとともに本誌や学会誌等へ解説文を寄稿してきた（豊島，2012；豊島・天野，2012；豊島，2018）。本稿では、カブリダニ類の見分け方と題して、流通しているカブリダニ製剤や今後製剤化が期待される在来種を取り上げ、それらの見分け方を解説する。なお、紙面の都合で解説を省略する部分があるので、それぞれの解説に示す二次元コードでウェブサイトにはアクセスし、解説の詳細や画像データを参照してほしい。

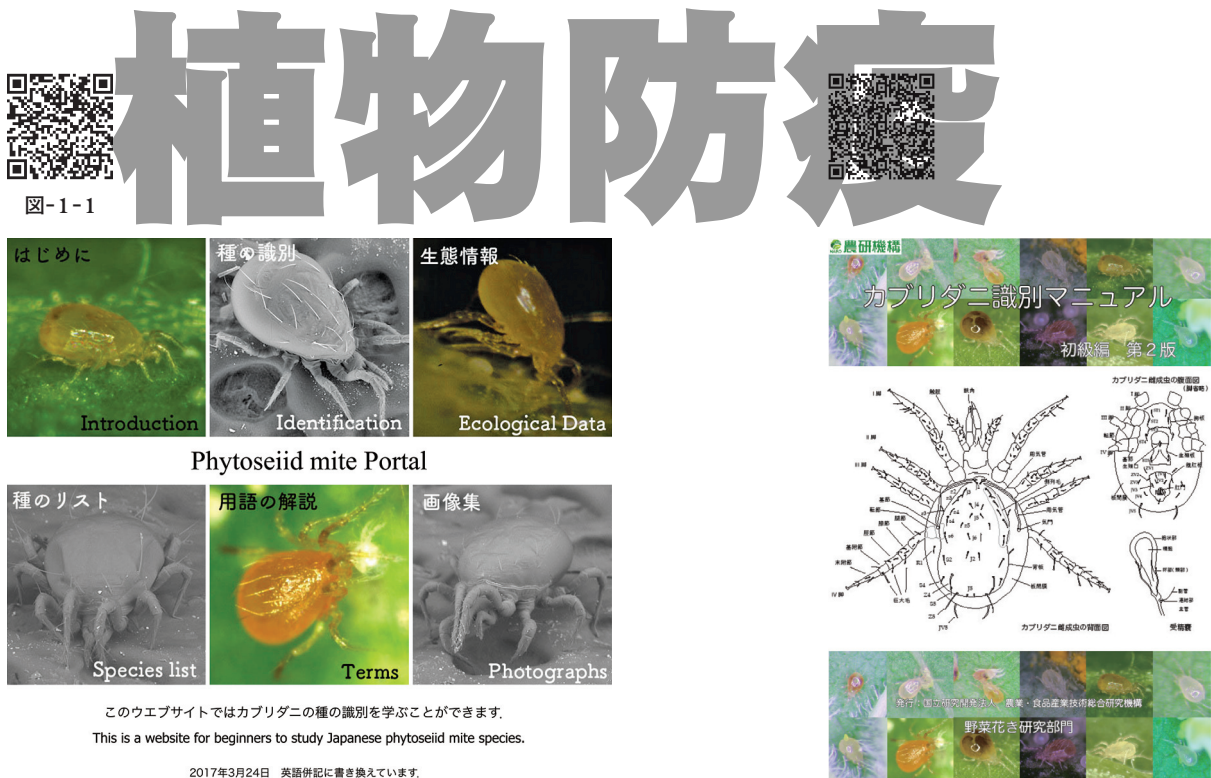


図-1 Phytoseiid mite Portal のウェブサイト, <https://phytoseiidae.acarology-japan.org>
 1-1 ホームページ, 1-2 カブリダニ分類の階層性, 1-3 ムチカブリダニ亜科,
 1-4 ムチカブリダニ属4種, 1-5 腹肛板の種間比較, 1-6 ミヤコとククメリス,
 1-7 ヘヤとマクワ, 1-8 ケナガと *longispinosus*, 1-9 キイ.

図-2 カブリダニ識別マニュアル初級編第2版, https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/135442.html

Discrimination of Agent and Domestic Phytoseiid Species. By Shingo TOYOSHIMA
 (キーワード: カブリダニ, 天敵製剤, 土着天敵, 識別, マニュアル)